



TERRAとも
NPO 法人 地球市民友の会

第 10 号

2013(平成25)年10月
NPO 法人地球市民友の会
藤沢市高倉 258 東勝寺内
☎0466-44-7570

FAX : 0466-44-0452 E メール : npo.terratomo@gmail.com HP : <http://www.terratomo.com>

お寺に泊まった！ 楽しかった！

夏休み恒例行事である「お泊り会」は昨年中止されたが、今年は「お寺に泊まろう」というキャッチコピーで積極的な募集活動を試みた。それが功を奏したのか児童16名の参加をえて、8月24(土)、25(日)の両日東勝寺でにぎやかに行うことができた。「お泊り会」は地域に住む子供たちが、一泊二日の共同生活をするにより国籍を超え子どもたちの相互理解を図る事業として実施してきたものである。

初日は午後5時集合、本堂で開会式。今回は文教大学HOPの学生さん12名のボランティア参加があった。子どもたちにとって‘お兄ちゃんお姉ちゃん’的存在であり大変頼もしいメンバーであった。おかげさまで、お泊まり会は大変充実したものになった。夕食はバーベキューでみんな満腹。そして花火遊びに興じたその後、夜のお墓の道をおそるおそる散策?! お寺には子供たちの元気な声が9時過ぎまで響き渡った。

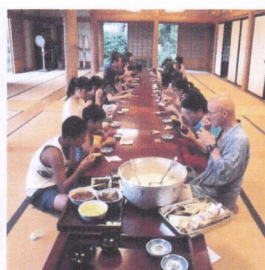
2日目は、6時起床、広いお寺の本堂、縁側、客殿等の清掃活動。普段やりなれないせいか子供たちには大変だったようだ。朝食は、本堂で食事の作法を学びながら和尚さん手作りのお粥をいただいた。合掌! そして坐禅、聞こえるのは雨音とけいさくの音だけ。いつもにぎやかな子どもたちだが、この時ばかりは静かな時の流れを感じたようだった。自由時間は学生さんのアイデアとリードでいろいろなゲームを楽しむことができた。スイカ割りはいいにくの雨のためできなかったが、昼食の「流しソーメン」の時には雨があがった。ラッキー! 太い孟宗竹で作った長い樋を流れ下るソーメンや時々流れてくるフルーツに大きな歓声があがった。

<子どもたちの感想>

- ・ はなびとびんごがたのしかったです。(1年生)
- ・ バーベキューはとてもたのしかったです。花火もたのしかったです。(2年生)
- ・ 楽しい友だちがたくさんできたし、大学生のひとたちともなかよくできたのでうれしかったです。来年もよていがいなければぜったいいきたいです。(3年生)
- ・ バーベキューでやまつ小学校の3年生の子と湘南台小の5年生と友だちになりました。流しソーめんは、フルーツがながれてきてびっくりしました。それから「りさピョン」という学生さんと友だちになりました。来年もこようと思います。(3年生)
- ・ バーベキューで友だちを作った。楽しかった! そして、オニゴッコやったり、花火、肝試し。最初はこわかったけど、しりとりとかしておもしろかった! また来たいと思った。(5年生)
- ・ 「お寺に泊まろう」は初めてきて とても楽しかった。一番楽しかったことは肝試し、来年にもうーかい行きたいと思います。(6年生)

<以下は学生さんの感想>

- ・ 今年もお泊まり会のお手伝いに招待して下さいありがとうございました。子ども達とのふれ合いはもちろん、東勝寺の黒澤おしょうさんはじめ、地球市民友の会の方々とたくさんお話をすることができ、有意義な時間をすごすことができました。これからも地域とのつながりを大切に、サークル活動に励んでいきたいと思っております。今回は、たくさんご迷惑もおかけしましたが、とてもよい経験をありがとうございました。
- ・ 昨年中止になってしまったぶんすごく楽しみにしていました。期待以上に楽しかったです!!! 昔ながらの夏の遊びを網羅できてすごく嬉しいし、大満足です。大学生の参加人数も多かったので準備、片付けもそこまで大変でなく、お手伝い側でしたが、子どものように楽しめました。冬にもこういう催しがあればいいなあと思います。



楽しかった！ 面白かった！ 大変だった！ 美味しかった！・・・みんな一緒に過ごした一泊二日のお泊り会、心にたくさんの思い出を残して無事に終わった。

お泊まり会を支えてくださった大勢の皆さんには心から感謝！感謝！！です。

夏の風物、流しソーメンを満喫！

9月の恒例行事になった「流しソーメンを楽しむ会」は9月21日(土)、東勝寺境内で実施された。NPO 地球市民友の会の日本語友の会、学習支援教室、スペイン語教室の生徒、先生、親、お泊まり会参加者やNPO関係者等、大人15名、子ども25名が寺に集まった。最近では流しソーメンを楽しめる場所がめっきり少なくなってきたこともあり、なかなか好評なようである。長い孟宗竹でこしらえた樋を流れ下るソーメンを箸でお椀にすくい取って食べる。みんなでワイワイ！ 参加者は夏の風流をしばし満喫し、お腹も満腹になったようである。



「夏休み子ども日本語教室」開催

当会では、地域に暮らす外国につながる大人や子どもに対して、日本語指導や学習支援を継続的に行っている。これまで大人対象に日本語指導を行ってきた「日本語友の会」は、日本に住んでいながらまだ日本語が十分でない児童・生徒を対象に日本語の指導や夏休みの課題学習の援助をすることを目的として「夏休み子ども日本語教室」を開催する企画を立てた。



近隣の小中学校や関係機関にチラシを配布し周知を図ったが、日程的に周知することが十分でなく参加者を増やすことができなかった。

今回の参加者は小学生2名であったが、8月21日(水)～23日(金)の3日間の9時～1

2時、東勝寺において実施した。指導者は文教大学の学生3名と日本語教室の先生2名が担当し、ちょっと贅沢な夏休み子ども日本語教室になった。

比嘉ノルマさんアルゼンチンへ帰る

比嘉ノルマさん（地球市民友の会 スペイン語教室代表）は、大勢の関係者に惜しまれつつ9月24日（日）に故国アルゼンチンに帰国した。帰国に先立って、8月3日（土）午後、ノルマさんにお世話になった人、一緒に仕事をしてきた人等大勢の関係者が東勝寺に集まりお別れの会が開催された。



会場に集まった人から送別の言葉や盛大な拍手が送られた。当会からは、黒澤理事長より感謝状が贈られた。この後、各自が持ち寄った料理や飲み物をいただきながら惜別の会がしばし続いた。後半、生バンドと歌の演奏が加わり別れを惜しむ会が更に盛り上がった。“ノルマさんありがとう！いつまでもお元気で！！”ノルマさんが在日中に大切にしてきたものを今後とも継承発展していきたいものです。

<感謝状>

比嘉ノルマ殿

あなたは 長年に亘り在日南米人児童のスペイン語教室を通じて 南米文化の伝承と南米人の誇りの育成に尽力され 2010年からは当会に合流し さらに活動を充実発展させ多大な貢献をされました。本日はここにその功績をたたえ 深く感謝の意を表します。

平成25年8月3日

NPO法人 地球市民友の会 理事長 黒澤宗剛



日本語教室;生徒の声を紹介します

私はベトナムから来たフックと申します。日本に来てから1年になります。私は今、いろいろな日常使う日本語や漢字を学習しています。私の目標は来年専門学校に入ることです。将来通訳として働きたいと思います。

<感想> 一年前初めて来日した際、日本語をまったくわからない私はとても心配しました。でも、先生の親切と熱心な指導のおかげで私はどんどん日本語を身につけ、自信ができました。今では日本人と少し話せるようになるまでになりました。教室で勉強するのは楽しく役に立ちます。こちらは国籍にかかわらず、みんな歓迎してくれます。授業を通して様々なことを教えてもらいました。気持ちを込めて感謝します。これからもよろしくおねがいいたします

メキシコからのメール#1

Hola! Como estas?

オラ！コモ エスタス？ こんにちは！皆さまお元気ですか？
マリンビストの古徳景子です。私は2009年からメキシコ・チアパス州に住み、間もなく5年目を迎えます。チアパス州立芸術科学大学(Universidad de Ciencias y Artes de Chiapas)でマリンバ・打楽器の准教授として、後輩の指導にあたっています。



この度は、「TERRA とも」の会報誌に寄稿させていただくことになりました。「何をお伝えしようか」と迷いましたが、中南米の社会や文化、音楽活動など、身近なことを書こうと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

東勝寺・本堂では、スウェーデンやアルゼンチン、メキシコ人のグループ達と、何度か演奏させて頂きました。コンサートを終えて、ご馳走たっぷりの懇親会交流も楽しく、特に、黒沢和尚さんと澤野先生の笑顔や、お寺の畳の香り。そして皆様で持ち寄って下さった手料理は、日本に帰った喜びをしみじみ味わえる寺として、思い出深く残っています。

さて、寄稿文 No.1 は ～メキシコ・チアパス州ってどんなところ？～をお伝えします。

チアパス州（州都トゥクストラ・グティエレス）は、メキシコの東南に位置し、面積は 73,887 k m² で九州の 2 倍より大きい広さです。グアテマラとの国境に接し、山々に囲まれた盆地にある商業都市。北は山岳、南は海岸地域といろいろな趣があります。

一方、1994 年に始まった先住民の貧困問題改善を要求して武装蜂起している、サパティスタ（指揮したエミリアーノ・サパタから）民族解放軍（E Z L N）の活動拠点があります。

州都から 85 k m 東にサンクリストバル・デ・ラスカサスという高原都市があります。ここはマヤ文明崩壊（およそ 15 世紀）後の先住民（インディヘナ）が、低地から移り住んだ土地。メキシコ国内で、もっとも先住民が多く住んでいる地区です。

現在も昔ながらの生活を守り、村ごとに独自の民族衣装を身につけ、カヤ葺き屋根と泥レンガの家に住んでいます。女性たちは野良仕事の傍ら手織りの布を織ったり、刺繍を施したりしています。この市場で売っている民芸品は、先住民の生活の糧となっています。宗教もキリスト教と伝統が渾然一体となり、独特の信仰が営まれています。

チアパス州の北東には、世界文化遺産に登録されているパレンケ遺跡があります。この遺跡は、密林のマヤ遺跡と呼ばれメキシコの中ではマヤ最大の規模です。天文台のある「宮殿」やパカル王の地下墳墓が発見された「碑文の神殿」など、6 世紀～8 世紀にかけて造られた貴重な建造物が美しい状態で保存されています。またチアパス州は、日本と非常に強いつながりがあります。1897 年、日本人の移民（榎本殖民団）が、州の南にあるアカコヤグアやタパチュエラに入植しました。今でも日系の人達が暮らしています。この史実を基に「希望の地」を作曲しました。いつか聴いて頂けると嬉しいです。

マヤ遺跡や先住民文化、密林ジャングルなど是非、チアパスを訪れて下さい。

それでは次回まで、Hasta Luego! またね！ （参献：地球の歩き方メキシコ'07～'08）

メキシコ・チアパス州



ベトナムからのメールご愛読ありがとうございました。10 号からは、藤沢出身で世界のマリンビストとしてご活躍の古徳景子さんにご寄稿頂くことになりました。プロフィールは紙面の関係で 11 号に掲載させていただきます。

（古徳景子さんは当 NPO の正会員になっていただいています）

これからの主な行事・お知らせ

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| ☆国際フェスティバル | 日時：11月10日（日） | 場所：サンパール広場 |
| ☆TERRAともコンサート | 日時：11月30日（土） | 場所：東勝寺 |
| ☆MINTOMO交流会 | 日時：12月 7日（土） | 場所：湘南台公民館 |
| ☆年末国際交流会 | 日時：12月29日（日） | 場所：東勝寺 |

※詳細は別途チラシでお知らせします